

自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日

## 平成 25 年度 事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

## 平成25年度事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

### 概況

平成25年度、情報通信学会は設立30周年を迎えた。これを記念し、第30回国際コミュニケーション・フォーラムは内外から著名な研究者を迎え、30年間で大きく様変わりした情報通信の世界を振り返り、今後の情報通信の発展と社会経済的に果たすべき役割について議論を行った。

また、6月には東洋大学において学会大会を開催した。さらに研究会を計35回開催。学会誌は年4号を発行。学会誌に掲載された論文のうち、優秀なもの3編に対し論文賞を授与した。

## I 学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業1）

### 1. 第30回情報通信学会大会

第30回情報通信学会大会を6月22日（土）、23日（日）の2日間、東京都文京区の東洋大学を主催校として開催した。「60年を迎えたテレビ放送の今後」と題し、シンポジウムを開催。NHKの塚田専務理事に基調講演をいただいたのち、民放、ネット関係者、総務省担当者、研究者によるパネル・ディスカッションを行った。また、特別セミナー「ウェブアクセシビリティの推進」の他、6つの研究会報告と23の個人研究発表とポスターセッションを行った。参加者は200名。

なお、本大会は、「情報通信月間」の参加行事である。

\*プログラム等詳細は別紙1

### 2. 平成25年度関西大会

大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホールにおいて、9月27日（金）に平成25年度関西大会を開催した。「ビッグデータ時代におけるICT成長戦略－関西復権を目指して－」と題し、基調講演とパネル・ディスカッションを行った。ビッグデータの活用を軸に関西でできることを産官学の専門家と議論を行った。参加人数は95名。

\*プログラム等詳細は別紙2

### 3. 設立30周年記念第30回国際コミュニケーション・フォーラム

第30回国際コミュニケーション・フォーラムは、学会の設立30周年を記念して、11月22日（金）、東京国際フォーラムにおいて「スマート革命－社会イノベーションの実現に向けて－」をテーマに開催された。海外から著名な研究者8名を招き、ICT利活用の方向性、アジアにおける協力の在り方などが議論された。参加者は174名。

\*プログラム等詳細は別紙3

## II 研究会等、機関誌発行、研究顕彰事業（公益目的事業2）

### 1. 研究会の開催

以下の13の研究会が活動を行い、年間計35回の研究会が開催された。

① 情報経済研究会（1回開催）

- ② 情報社会研究会 (4回開催)
- ③ 国際情報研究会 (1回開催)
- ④ 情報文化研究会 (1回開催)
- ⑤ マルチメディア研究会 (3回開催)
- ⑥ 情報行動研究会 (1回開催)
- ⑦ モバイルコミュニケーション研究会 (6回開催)
- ⑧ 情報知財研究会 (6回開催)
- ⑨ 情報社会システム研究会 (1回開催)
- ⑩ 地域メディア研究会 (2回開催)
- ⑪ ICT将来政策研究会 (1回開催)
- ⑫ 情報通信経済法学会 (2回開催)
- ⑬ わが国における情報通信産業の法制度に関する研究会 (6回開催)

\*研究会の詳細は別紙4

## 2. 情報通信学会誌の発行

投稿論文、論説と学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムの講演録を掲載した情報通信学会誌106号～109号(第31巻第1号～第4号)を発行した。

発行部数は1300部、会員に送付されるほか、53団体が定期購読を行っている。

\*情報通信学会誌各号の詳細は別紙5

## 3. 論文賞の授与

平成24年度発行の学会誌に掲載された論文の中から優秀賞1編、佳作2編を選考し、6月22日に東洋大学で開催された学会大会において表彰した。

<優秀賞>「Privacy と Property の微妙なバランス：Post 論文を切り口にして Warren and Brandeis 論文を読み直す」林紘一郎(学会誌第30巻第3号 No.104 平成24年12月発行)

<佳作>「肖像情報に関する権利利益の諸相」斉藤邦史(学会誌第30巻第3号 No.104 平成24年12月発行)

<佳作>「視覚障害者向け音声読み上げ機能の評価—電子書籍の普及を見据えて」山口翔、植村要、青木千帆子(学会誌第30巻第2号 No.103 平成24年9月発行)

## III 管理部門

平成25年度は、理事の任期満了に伴う改選が行われ、評議員会は新たに20名の理事、4名の評議員の選任を行った。

また、4月には会員種別構成について整理を行い、正会員(一般)と正会員(院生)に分かれていた個人会員の種別を正会員(個人)としてまとめた。

収支においては、賛助会員の新規入会があり若干持ち直したものの、基本財産の利息収入においても金利が安く、今後さらに減収が見込まれることもあり、学会運営は厳しい局面となってきたことは変わらない。

## 1. 会員の増減

平成25年2月26日に開催された第14回理事会議決および、同年3月18日に開催された第9回評議員会承認を受け、平成25年4月1日より会員に関する規則（会員規則）の改定を行い、会員種別構成が変更された。これにより平成25年4月1日現在、正会員（個人）は791名、正会員(団体)3団体、学生会員6名、特別会員65名、賛助会員40団体であった。平成25年度内に正会員(個人)は52名の入会、学生会員からの変更が3名あったものの、70名の退会があり、正会員（個人）数は平成26年3月31日現在、776名となった。学生会員、特別会員を合わせた個人会員数は846名である。賛助会員は、イー・アクセス株式会社及びシスコシステムズ合同会社の2団体の退会があったが、賛助会員の入会呼びかけを行い、野村総合研究所、日本通信株式会社、株式会社三橋、矢崎総業株式会社、エレコム株式会社が入会となり、賛助会員は43団体、108口となった。今後は特に個人会員の増強に向けて、役員を中心に会員入会の働きかけを行っていく。

\*会員の増減状況及び会員種別構成については付属明細書に記載する。

## 2. 収支状況

平成25年度正味財産増減計算書の経常収益計は22,847,921円、経常費用計は24,941,182円。経常収益のうち受取会費は17,066,200円、事業収益は907,000円であった。経常費用においては事業費が20,284,771円、管理費が4,656,411円であった。正味財産の期末残高は2,075,207円減の89,374,255円となった。また、個人より計11万円の一般寄付金、企業より90万円の指定寄付があった。

設立30周年事業である第30回国際コミュニケーション・フォーラムの開催のため、周年事業促進基金（780万円）のうち、560万円を取崩す予定であったが、民間団体からの補助金が2団体より計230万円あったこと、計画当初は2日間の開催を予定していた事業を1日に集約するなどの経費節減を行った結果、380万円の取崩しで済んだ。残余の400万円については、35周年事業の費用として、周年事業促進基金に改めて積立を行うこととした。

## 3. 評議員会及び理事会の開催

平成25年度は評議員会を2回、理事会を8回、常任理事会を4回開催した。

また、理事の任期満了に伴う改選があり、4月に開催された会員投票の結果を参考に6月18日、評議員会は新たに20名の理事の選任を行った。また、評議員会は平成24年度及び平成25年度に辞任した3名の評議員に代わり、新たに4名の評議員を選任した。

\*評議員会及び理事会の詳細については別紙6

\*評議員及び理事名簿を付属明細書に記載する。

## 4. 委員会等の開催

事業企画委員会、研究企画委員会、編集委員会、関西センター委員会のほか、総務プロジェクトチームがそれぞれ別紙のとおり委員会及び会合を開催した。

また、委員の負担を軽くするため、委員会のメーリングリストによる検討、書面会議による議決を行った。

・事業企画委員会（3回開催）

情報化ワーキンググループ（1回開催）

- ・研究企画委員会 (3回開催)
  - ・編集委員会 (5回開催)
    - 編集委員会関連規則の整備グループ (1回開催)
  - ・関西センター委員会 (4回開催)
  - ・総務プロジェクトチーム (2回開催)
- \*委員会等の詳細は別紙7

## 第30回情報通信学会大会

開催日程 平成25年6月22日(土)・23日(日)  
場 所 東洋大学 白山キャンパス  
(東京都文京区白山5-28-20)  
主 催 公益財団法人情報通信学会  
協 賛 情報通信月間推進協議会  
シンポジウム共催 特定非営利活動法人 情報通信政策フォーラム  
シンポジウム協賛 特定非営利活動法人 情報通信政策フォーラム  
特定非営利活動法人 ウェブアクセシビリティ推進協会  
\*情報通信月間参加行事

### <プログラム>

#### 6月22日(土)

アーリーバード(個人研究発表大学院生の部)  
会長挨拶 三友仁志(情報通信学会会長)  
招聘校挨拶 竹村牧男(東洋大学学長)  
シンポジウム「60年を迎えたテレビ放送の今後」  
基調講演 塚田祐之(日本放送協会専務理事)  
パネル・ディスカッション  
パネリスト 塚田祐之(日本放送協会専務理事)  
三友仁志(早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科教授)  
田村和人(フォアキャスト・コミュニケーションズ常務取締役)  
建山雄旗(ヤフー株式会社 メディアサービスカンパニー  
メディアユニットユニットマネージャ)  
岡本成男(総務省情報流通政策局放送政策課企画官)  
司会 山田 肇(東洋大学経済学部教授)  
大会実行委員長挨拶 山田 肇(東洋大学経済学部教授)

#### 6月23日(日)

個人研究発表(一般の部)  
研究会報告  
ポスターセッション

### <概要>

#### シンポジウム「60年を迎えたテレビ放送の今後」

わが国のテレビ放送は1953年にスタートし、今年60周年を迎えた。  
テレビ放送は長い間マスメディアの中核に位置付けられてきたが、情報社会化は急速に進展し、今で

はネット利用が社会に定着している。人々は多くをネットに依存し、ニュースやドラマがネットを通じて楽しめるようになった結果、テレビ放送と社会との関係も変化の時を迎えている。

テレビ放送は当初ネットを警戒していたが、徐々にネットを利用するようになってきた。今では、ネットで番組を広報するだけにとどまらず、ネットを通じて番組を配信したり、視聴者の意見を収集したりと、様々な形でネット利用が進んでいる。ネットと一層融合した新技術（ハイブリッドキャスト）の研究開発も進んでいる。視聴者の側にも変化が生じ、遠く離れた仲間とチャットしながら番組を楽しむといった、新しい視聴形態も生まれている。

今後、テレビ放送はネットとどのような関係を築こうとしているのだろうか。それは、経営にどのような影響を与えるのだろうか。テレビ放送産業はどのように変貌し、生き残りを図ろうとするのだろうか。新しい時代にも、放送法は今まで通りで構わないのだろうか。

このシンポジウムでは、60年を迎えたテレビ放送の今後について、広く意見を交換した。

### <個人研究発表>

#### 大学院生の部

1. 若者におけるスマートフォンの『利用と満足』に関する研究 尹燦奇（東洋大学大学院生）
2. ビッグデータ利活用におけるプライバシー情報の経済的価値と課題の解決に向けて 栗田克己（早稲田大学大学院生）
3. 日本の聴覚障害者の電気通信政策をめぐる方向性と先進諸外国における政策展開の動向 細川正嗣（法政大学大学院生）
4. 共生社会実現に向けたエコシステムの Lotka-Volterra モデルによる携帯電話と i-mode の契約数動向の検証 池末成明（総合研究大学院大学院生）
5. 情報通信分野におけるコーポレート・ガバナンス：アンバンドル政策と通信事業者のブロードバンド投資に対する株主行動の日米比較 光山奈保子（早稲田大学大学院生）、三友仁志（早稲田大学）
6. Analysis of direct public policy towards broadband: How the supply-side and demand-side policies perform during the different stage of broadband diffusion Mingchan Cheng (Student, Graduate School of Economics Kyushu University)
7. 包絡分析法による日本の情報通信分野におけるODAの評価 畠山裕爾(早稲田大学大学院生)、三友仁志（早稲田大学）
8. 日本映画館における観客動員数の時間的変化の考察 張 永祺（東京大学大学院生）
9. 東アジアにおける国際間インターネット・トラヒックの状況とデジタル・コンテンツの流通 李ウオンギョン（早稲田大学大学院生）

#### 一般の部

1. パーソナルデータの利用に係る個人の許容度に関する調査分析 田尻信行（早稲田大学）
2. ビッグデータの流通と阻害要因～放送業界を対象とした分析を中心として～ 伊賀野康生（テレコムサービス協会）
3. 利用者のプライバシー保護に配慮した管理基盤（プライバシーポリシーマネジメントシステム）の提言について 高崎晴夫（株式会社 KDDI 総研）、中村徹（株式会社 KDDI 総研）
4. 災害時のツイートへの対応意図・信頼に及ぼす行動コストの効果 小笠原盛浩（関西大学）、山口

浩（駒澤大学）

5. 電子情報通信技術の大衆化過程の成熟国と途上国における比較試論 中野幸紀（関西学院大学）
6. コミュニティラジオと災害—役割の再定義と支援の在り方 金山智子（情報科学芸術大学院大学）
7. 米国におけるテレビ番組クラウド視聴サービスをめぐる訴訟の動向 城所岩生（国際大学グローバルコミュニケーションセンター）
8. クチコミプラットフォームにおける認証制度が信頼感に与える影響に関する研究 吉見憲二（早稲田大学）
9. 周波数帯再編成のための電波価格表示—とくに多数による電波共用と垂直構造中の電波間接利用 鬼木甫（情報経済研究所）
10. 第5世代（5G）移動通信技術の登場と電波監理政策の方向性 湧口清隆（相模女子大学）
11. 古物商許可申請手続の電子化による手続協力費用削減の有無の検証 本田正美（東京大学）
12. 大学における ICT 国際標準化教育の知構造分析と ICT 活用による大学間科目連携 中西浩（大阪大学）、金谷学（大阪大学）
13. 青少年のモバイル利用とネット依存—東京大学橋元研究室・総務省情報通信政策研究所共同研究から 大野志郎（東京大学大学院）、天野美穂子（東京大学大学院）、堀川裕介（東京大学大学院）、橋元良明（東京大学）
14. マルチメディアクラウドサービスに関するユーザ受容の日独比較 田中康裕（専修大学）、小舘亮之（津田塾大学）

ポスターセッション

1. 報道の自由と肖像権侵害に関する考察 渡邊美樹（明治大学大学院生）

## <研究会報告>

### 1. 情報行動研究会

「青少年のスマートフォン利用と有害情報接触・親子関係」報告者：千葉直子（NTTセキュアプラットフォーム研究所）、堀川裕介（東京大学大学院院生）討論者：松田美佐（中央大学）、天笠邦一（昭和女子大学）

司会者：橋元良明（東京大学）

### 2. ICT将来政策研究会

「サイバーセキュリティ」報告者：松原実穂子（日立システムズ/Pacific Forum CSIS）、松浦幹太（東京大学）

司会者：土屋大洋（慶應義塾大学）

### 3. モバイルコミュニケーション研究会

「ポストモバイル社会：モバイル/ユビキタスからセカンド・オフライン」報告者：藤本憲一（武庫川女子大学、富田英典（関西大学）、吉田達（東京経済大学）

司会者：松田美佐（中央大学）

### 4. 情報通信経済法学研究会

「米国eBay最高裁判決の4要件により競争者同士の特許訴訟で差止めが否定された事例について：スマートフォンをめぐるとアップル対サムスン特許訴訟の一断面」報告者：林秀弥（名古屋大



学)

「情報通信分野における公正な競争とは何か？」報告者：林秀弥（名古屋大学）

「電気通信事業法制における競争観の展開」報告者：福田雅樹（早稲田大学）

司会者：林秀弥（名古屋大学）

#### 5. 地域メディア研究会

「地域メディア・システムとしての日中韓の放送系ネットワークに関する比較分析—地上テレビ放送、ケーブルテレビ間のハード・ソフト関係を中心に—」報告者：趙敬（中国伝媒大学）、金泳徳（韓国コンテンツ振興院）、高田義久（慶應義塾大学）コメンテータ：菅谷実（慶應義塾大学）

司会者：上原伸元（東京国際大学）

#### 6. 国際情報研究会

「米国におけるビッグデータ・エコシステム」報告者：田中絵麻（マルチメディア振興センター）、宮原泰徳（慶應義塾大学）

司会者：三友仁志（早稲田大学）

#### 7. 情報社会研究会

「情報アクセシビリティ研究と3D立体映像」報告者：中村広幸（芝浦工業大学）

司会者：中村広幸（芝浦工業大学）

#### 8. 特別セミナー「ウェブアクセシビリティの推進」

「障害者基本計画における情報アクセシビリティ」報告者：後藤芳一（日本福祉大学）

「ウェブアクセシビリティ標準とガイドラインの整備」報告者：植木真（インフォアクシア）

「公共団体での義務化に関する世界の動向」報告者：遊間和子（国際社会経済研究所）

討論者・司会者：山田肇（東洋大学）

## 平成25年度関西大会

開催日程 平成 25 年 9 月 27 日（金）  
場 所 大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール  
（大阪市北区中之島 4-3-53）  
主 催 公益財団法人情報通信学会

### <プログラム>

テーマ「ビッグデータ時代における ICT 成長戦略－関西復権を目指して－」

基調講演 渡辺克也（総務省大臣官房審議官（情報流通行政担当））

### パネル・ディスカッション

パネリスト 栄藤稔（NTT ドコモ執行役員研究開発推進部長）

北野義幸（大阪府商工労働部特区推進監）

五内川拓史（株式会社インフォコーパス主席研究員）

鳥海不二夫（東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻准教授）

渡辺克也（総務省大臣官房審議官（情報流通行政担当））

コーディネータ 岡野直樹（大阪大学産学連携本部教授）

### <概要>

総務省の情報通信白書によると、小売業や製造業、交通分野などで年間約 7 兆 7 千億円の経済効果をもたらすという「ビッグデータ」。インターネットからはじまり、「マルチメディア」と呼ばれる音声や画像を含む大量のデータを高速で処理できる技術、ネットワークの構築、そして著作権法の法改正の運用面の緩和により、ひとつひとつのデータを解析することによって、その時に求められている知見を得るための素材となったのです。そして今、あらゆる分野で「ビッグデータ時代」が訪れようとしている。

世界的にも進んでいる「ビッグデータ時代」。産業構造や個人情報への壁によりデータを保有しながら活用できない、あるいは活用が必要な分野に十分なデータが無い、人材育成が遅れているという指摘もある。このような壁をどのように克服すべきか、ならびに関西でできることを産官学の専門家と討論を行った。

第30回国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程	平成25年11月22日(金)
場 所	東京国際フォーラム (東京都千代田区丸の内3-5-1)
主 催	公益財団法人情報通信学会
協 賛	公益財団法人 KDDI 財団、公益財団法人電気通信普及財団
後 援	総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、 日本電気株式会社、株式会社日立製作所、富士通株式会社、株式会社 NTT ドコモ、 株式会社東芝、KDDI 株式会社、NTT コミュニケーションズ株式会社、日本放送協会、 一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人電波産業 会、一般財団法人マルチメディア振興センター

<プログラム>

開会の辞	三友仁志(公益財団法人情報通信学会会長・早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科教授)
祝 辞	上川陽子(総務副大臣) Erik Bohlin(スウェーデン チャルマーズ工業大学テクノロジーマネジメント・経済学部教授)
記念講演	「ICT Growth Strategy」 桜井俊(総務省総務審議官)
基調講演1	「Cloud-TV as the next driver of change」 Eli Noam(米国 コロンビア大学CITI所長・ビジネススクール教授)
基調講演2	「Spectrum & Innovation: coping with future radio spectrum needs」 Gerard Pogorel(フランス パリ電気通信技術大学名誉教授)
基調講演3	「Global Policy Leadership for the 'Smart' Ecosystem: How?」 Erik Bohlin(スウェーデン チャルマーズ工業大学テクノロジーマネジメント・経済学部教授)
ラウンドテーブル1	「ICTによる社会革新と新しい価値の創造」
パネリスト	稲田修一(東京大学先端科学技術研究センター特任教授) 梶浦敏範((株)日立製作所情報・通信システム社スマート情報システム統括本部上席研究員) 片山泰祥(日本電信電話株式会社 代表取締役副社長) 久保田啓一(日本放送協会 理事・技師長) 鈴木茂樹(総務省 大臣官房官房総括審議官、広報・政策企画担当) Eli Noam(米国 コロンビア大学CITI 所長・ビジネススクール教授) Gerard Pogorel(フランス パリ電気通信技術大学名誉教授)
司 会	菅谷実(慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授)

## ラウンドテーブル2 「ICTの展開とアジアの成長」

- パネリスト 寺崎明 ((株)野村総合研究所顧問・東京工業大学大学院理工学研究科客員教授)  
Yu-Li Liu (台湾 国立政治大学ラジオ・テレビ学部教授)  
Tingjie Lu (中国 北京郵電大学経営・経済学院教授)  
Xu Yan ((香港 香港科学技術大学情報システム管理学部教授)  
Chang-Ho Yoon (韓国 高麗大学経済学部教授)  
Sudharma Yoonaidharma (タイ タイ商工大学学長)  
Erik Bohlin (スウェーデン チャルマーズ工業大学テクノロジーマネジメント・経済学部教授)
- 司会 三友仁志 ( (公益財団法人情報通信学会会長・早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科教授・早稲田大学デジタル・ソサエティ研究所長)
- 閉会の辞 福家秀紀 (フォーラム実行委員長・駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授)

### <概要>

情報通信学会も、今年で創立 30 周年を迎え、昨年には、当学会の公益財団法人への移行が実現したが、この間に、インターネットの急速な普及とブロードバンド化、携帯電話の急速な普及とスマートフォンの爆発的な成長、テレビ放送のデジタル化等、情報メディア環境は大きく変化した。スマートフォンや電子書籍端末の登場とクラウドサービスの活用によって、電子化した情報が社会経済活動のあらゆる場面で、日常的に利用されている。また、テレビ・新聞などのマスメディアが伝える情報に加えて、SNS の普及に伴って、消費者が普通に情報を発信し、それを世界中の人が受信することが可能となった。また、グーグルを中心とした検索エンジンの普及は、メディアの利用形態を変えると同時に、テレビ・新聞等広告に依存した既存メディアのビジネスモデルの転換を迫っている。さらに、こうした ICT を活用して、スマート革命、即ち様々な状況に柔軟に対応できるようなインテリジェントな仕組みが社会経済活動の様々な分野に浸透し、社会イノベーションが実現されることが期待されている。

そこで、今回のフォーラムでは、ICT が今後どのような方向に発展していくのか、その可能性を探ると同時に、デジタル情報の流出や、プライバシー侵害の可能性等新しい課題にどのように取り組むかの議論を深める。さらに、スマート革命の進行は、自ずから社会経済活動のグローバル化を促し、アジア地域においても、その発展のための協力のあり方が問われている。この局面で、学会・研究者の果たすべき役割は何かについて考察するのも当学会の果たすべき重要な役割の一つであろう。

以上を踏まえ、まず、記念講演として、総務省の高官から、総務省で進められている ICT 成長戦略を中心にして、我が国の取り組みをご紹介。その上で、基調講演として、米国と欧州の著名な研究者から、ICT の利活用の方向性を論じた。また、学会・研究者の国際協力について、ITS (International Communications Society) の会長より講演して頂いた。

さらに、基調講演を基に、二つのラウンドテーブル、ラウンドテーブル1 「ICTによる社会革新と新しい価値の創造」、ラウンドテーブル2 「ICTの展開とアジアの成長」をテーマに議論を深めた。

平成25年度研究会開催状況

- ① **情報経済研究会**（主査：内山隆 幹事：湧口清隆） 1回開催
  - ・6月28日 16：00～18：00 青山学院大学第15会議室
  - 「メガメディアの海外番組販売」 発表者：輪座克彦（BBC World Japan）
- ② **情報社会研究会**（主査：中村広幸 幹事：井村保、柴田邦臣） 4回開催
  - ・6月23日（日）15：15～17：15 東洋大学6号館6204教室
  - 「情報アクセシビリティ研究と3D立体映像」 発表者：中村広幸氏（芝浦工業大学）
  - ・7月13日（土）15：00～18：00 芝浦工業大学佃イノベーションスクエア
  - 「景観評価ツールとしてのS3D」 発表者：中村広幸（芝浦工業大学）、関谷隆司（ステレオクラブ東京）
  - ・12月6日（金）・7日（土）18:00～20：00 芝浦工業大学佃イノベーションスクエア
  - 「S3Dで巡る日本と世界遺産」 発表者：中村広幸氏（芝浦工業大学）
  - ・12月14日（土）15：00～18：00 芝浦工業大学佃イノベーションスクエア
  - 「実写S3Dと2D/3D変換」 発表者：中村広幸（芝浦工業大学）、関谷隆司（ステレオクラブ東京）
- ③ **国際情報研究会**（主査：三友仁志 幹事：田中絵麻、七邊重信） 1回開催
  - ・6月23日（日）15：15～17：15 東洋大学6号館6208教室
  - 「米国におけるビッグデータ・エコシステム」 発表者：田中絵麻氏（一般財団法人マルチメディア振興センター）
  - 「センサーネットワークとビッグデータ」 発表者：宮原泰徳氏（慶應義塾大学）
- ④ **情報文化研究会**（主査：岡田朋之、中野幸紀） 1回開催
  - ・3月1日（土）13：00～15：30 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
  - 「我が国のオープンデータ戦略について」 発表者：井幡晃三（総務省）、福野泰介（株式会社JIG.JP）
  - コメンテータ：飯田征一（経営技術コンサルタント協会）
- ⑤ **マルチメディア研究会**（主査：塚本勝利、中西浩 幹事：長谷川想、太田清喜） 3回開催
  - ・6月7日（金）13：00～15：00 グランフロント大阪ナレッジキャピタルサロン
  - 「ナレッジキャピタルによろこそ」 発表者：間渕豊（一般社団法人ナレッジキャピタル）
  - 「大画面裸眼立体ディスプレイ他、情報通信研究機構の研究紹介」 発表者：榎並和雅（情報通信研究機構）
  - ・6月27日（木）15：00～17：00 関西学院大学梅田キャンパス1408教室
  - 「スマートシティ実現のための情報技術」 発表者：前田章（株式会社日立製作所インフラシステム社CSO）
  - ・2月24日（月）15：00～17：00 関西大学天六キャンパス209号教室
  - 「位置情報ビッグデータ利活用の可能性」 発表者：新居眞吾（KDDI株式会社）
- ⑥ **情報行動研究会**（主査：吉井博明 幹事：三上俊治、橋元良明） 1回開催
  - ・6月23日（日）10：00～12：00 東洋大学6207教室（学会大会）

「青少年のスマートフォン利用と有害情報接触・親子関係」 発表者：千葉直子(N T Tセキュアプラットフォーム研究所)、堀川裕介 (東京大学大学院) 討論者：松田美佐 (中央大学)、天笠邦一 (昭和女子大学) 司会：橋元良明 (東京大学)

⑦ **モバイルコミュニケーション研究会** (主査：藤本憲一 幹事：富田英典・岡田朋之) 6回開催  
・5月15日 (水) 15:00~17:00 関西大学東京センター

「UDC (ユーザー・ディストリビューティド・コンテンツ)とモバイル・メディア」 発表者：Mikko Villi (東京大学客員研究員・フィンランド アールト大学) 討論者：小笠原盛浩 (関西大学) 司会：金ヨニ (東京大学)

・6月23日 (日) 13:00~15:00 東洋大学6207教室 (学会大会)

「「関与シールド (Involvement Shields)」としてのケータイ」 発表者：藤本憲一 (武庫川女子大学)

「モバイルARと重畳されたイメージに関する研究」 発表者：富田英典氏 (関西大学)

「スマートフォン時代の情報利活用とプライバシーについて」 発表者：吉田達氏 (東京経済大学)

・8月30日 (金) ~9月1日 (日) セミナーハウスクロス・ウェーブ府中 (クローズド)

発表者：富田英典 (関西大学)、岡田朋之 (関西大学)、金ヨニ (東京大学)、天笠邦一 (昭和女子大学)、上松恵理子 (武蔵野学院大学)、伊藤耕太 (博報堂)、小笠原盛浩 (関西大学)、吉田達 (東京経済大学)、藤本憲一 (武庫川女子大学)

・2月9日 (日) 13:00~20:00 博報堂 (クローズド)

「アフリカ社会とモバイルメディア」 発表者：羽瀨一代 (弘前大学)

「犯罪警察小説の中のモバイルに関するディスコース分析」 発表者：藤本憲一 (武庫川女子大学)

「モバイル技術・文化の歴史と現状について」 発表者：富田英典 (関西大学)

・2月15日 (土) ~16日 (日) 関西大学飛鳥文化研究所 (クローズド)

「ユビキタスからセカンドオフラインへ」 発表者：富田英典 (関西大学)

「モバイル産業の動向について」 発表者：岡田朋之 (関西大学)

「モバイルホンと日本ロマンティッククラブ」 発表者：天笠邦一 (昭和女子大学)

「日本デジタル教育の現状」 発表者：上松恵理子 (武蔵野学院大学)

「ワークスタイルとリクルーティング」 発表者：松下慶太 (実践女子大)

「消費されるモバイルコンテンツと文化的変容」 発表者：伊藤耕太 (株式会社博報堂)

「モバイルデバイスとソーシャルフィルタリングについて」 発表者：小笠原盛浩 (関西大学)

「ICTの潜在的リスクについて」 発表者：吉田達 (東京経済大学)

・3月31日 (月) 15:00~17:00 関西大学東京センター

「ライフログアプリの可能性」 発表者：田口 敬 (じぶんラボ株式会社) 討論者：吉田達 (東京経済大学) 司会：天笠邦一 (昭和女子大学)

⑧ **情報知財研究会** (主査：鈴木雄一 幹事：玉井克哉) 5回開催

・4月11日 (木) 18:30~20:30 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室

「20年間の事件事故を通して見る『IT社会の難点』」 発表者：矢野直明 (サイバーリテラシー研究所)

- ・4月22日(月)18:30~20:00 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室  
「個人情報保護法における第三者提供制限義務(23条)の課題と利活用促進策の限界ー現行法下での連結可能匿名化容認案等と23条の潜脱的解釈の問題」 発表者: 鈴木正朝(新潟大学)
- ・6月3日(月)14:00~17:30 ステーションコンファレンス東京605  
メインテーマ「個人データの活用とプライバシーービジネスと法律の狭間で~」  
「欧州の最近の動き」 発表者: Jeff Gould (NPO法人SafeGov)  
「米国のビジネスから」 発表者: Eric Clemons (ペンシルヴェニア大学)  
「日本のデータ活用ビジネスの条件」 発表者: 玉井克哉(東京大学)  
「パーソナルデータの利活用と将来の発展」 発表者: 三又裕生(経済産業省)  
「ビジネス事業者から見た、パーソナルデータ活用への期待と課題」 発表者: 高崎晴夫(株式会社KDDI総研)
- ・11月1日(金)18:30~20:30 泉ガーデンタワー13階  
「TPPで日本の著作権法はどう変わるか-保護期間延長問題を中心に-」 発表者: 福井健策(弁護士/日本大学)、玉井克哉(東京大学)
- ・12月13日(金)18:30~20:30 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室  
「他の事業者の事業活動を排除する包括徴収方式を行うJASRACは悪者か?技術と業界と法制との捻れを俯瞰する」 発表者: 境真良(経済産業省)
- ・3月13日(木)18:30~20:30 ステーション・コンファレンス東京602AB  
「パーソナルデータの利活用促進と教育現場での問題~『子供のプライバシー』についての問題提起をかねて~」 発表者: ジェフ・グールド(NPO法人SafeGov)
- ⑨ **社会システム研究会** (主査: 清原聖子 幹事: 李洪千・小林哲郎) 1回開催
  - ・10月11日(金)18:30~20:30 明治大学駿河台キャンパスリバティタワー1021教室  
「ネット選挙は新たな『公共圏』を生み出すかー2013年参院選を振り返る」 趣旨説明: 清原聖子(明治大学) パネリスト: 前嶋和弘(文教大学)、李洪千(慶應義塾大学)、清水憲人(情報通信総合研究所)、竹石涼子(朝日新聞) 討論者: 清原聖子(明治大学)
- ⑩ **地域メディア研究会** (主査: 上原伸元) 2回開催
  - ・6月23日(日)15:15~17:15 東洋大学6207教室(学会大会)  
メインテーマ「地域メディア・システムとしての日中韓の放送系ネットワークに関する比較分析ー地上テレビ放送、ケーブルテレビ間のハード・ソフト関係を中心にー」  
「地域メディアの観点からの中国における放送系ネットワークの現状」 発表者: 趙敬(中国伝媒大学)  
「地域メディアの観点からの韓国における放送系ネットワークの現状」 発表者: 金泳徳(韓国コンテンツ振興院)  
「地域メディアの観点からの日本における放送系ネットワークの現状」 発表者: 高田義久(慶應義塾大学)
  - ・11月18日(月)16:30~18:30 慶應義塾大学大学院棟8階会議室  
「Finding the balance point in deciding the scope of the communications ombudsman scheme」 発表者: グレイス・リー(シドニー工科大学)
- ⑪ **ICT将来政策研究会** (主査: 土屋大洋、秋吉美都 幹事: 増山寛・高崎晴夫) 1回開催

・6月23日（日）10：00～12：00 東洋大学6208教室（学会大会）  
「日本のサイバーセキュリティ国際協力の現状と今後について」 発表者：松原実穂子（日立システムズ）

「暗号技術からディフェンダー・ムーブメントへの道」 発表者：松浦幹太（東京大学）

⑫ 情報通信経済法学研究会（主査：林秀弥 幹事：福田雅樹） 2回開催

・6月23日（日）13：00～15：00 東洋大学6208教室（学会大会）  
「米国eBay最高裁判決の4要件により競争者同士型の特許訴訟で差止めが否定された事例について：スマートフォンをめぐるアップル対サムスン特許訴訟の一断面」 発表者：林秀弥（名古屋大学）

「情報通信市場における「公正な競争」とは何か？」 発表者：林秀弥（名古屋大学）

「電気通信事業法制における競争観の展開」 発表者：福田雅樹（早稲田大学）

・3月15日（土）13：30～15：30 名古屋大学大学院法学研究科第2会議室

シンポジウム「東海地方から見た情報通信行政の現状と課題」

「東海4県における情報通信行政をめぐって－東海総合通信局の取組－」 発表者：木村順吾（総務省東海総合通信局）

パネル・ディスカッション「東海地方から見た情報通信行政の現状と課題」 パネリスト：木村順吾（総務省東海総合通信局）、林秀弥（名古屋大学）、福田雅樹（早稲田大学）

⑬ わが国における情報通信産業の法制度に関する研究会（主査：林紘一郎 幹事：鈴木稔、鈴木祐司） 6回開催

・4月26日（金）14：00～16：00 株式会社シード・プランニング会議室  
「インターネットと通信の秘密」 発表者：林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）

・5月29日（水）14：00～16：00 株式会社シード・プランニング会議室  
「電気通信事業法の課題を考える」 発表者：武智健二氏（イー・アクセス株式会社）

・6月21日（金）14：30～16：30 株式会社シード・プランニング会議室  
「NTT法と情報通信産業の活性化について」 発表者：依田高典氏（京都大学）

・7月31日（水）14：30～16：30 株式会社シード・プランニング会議室  
「放送と著作権をめぐる現代的課題」 発表者：上野達弘（早稲田大学）

・9月17日（火）14：30～16：30 株式会社シード・プランニング会議室  
「放送業界への期待と課題～メディア多様化とグローバル化の視点から」 発表者：梅澤高明（A. T. カーニー日本）

・9月24日（火）14：30～16：30 株式会社シード・プランニング会議室  
「電波有効利用とオークション」 発表者：鬼木甫（株式会社情報経済研究所）



情報通信学会誌 (106号～109号)

情報通信学会誌第31巻第1号 通算第106号 (平成25年5月号)

掲載論文

- ・「iPadユーザのブログにみる使用イメージの研究—機能中心、使い方中心の使用のモデルを手がかりに」 今江崇、兼子正勝
- ・「放送事業の効率性に関する実証分析 —地域性の検証と提案—」 脇浜紀子

掲載論説

- ・「TV Digital Switchover in New Zealand」 植田康孝
- ・「条件不利地域におけるCATV網構築に関する考察—地上デジタル放送移行とブロードバンド普及の影響を踏まえて—」 高田義久

情報通信学会誌第31巻第2号 通算第107号 (平成25年9月号)

特集 第30回情報通信学会大会

掲載論文

- ・「スマートフォン保有者のモバイルデータサービス受容要因に関する考察—国内スマートフォン保有者調査に基づく分析—」 高田義久、藤田宜治
- ・「現代日本の大学生におけるゲームの利用と満足—ゲームユーザー研究の構築に向けて—」

井口貴紀

- ・「「個人データ保護」の法益と方法の再検討：実体論から関係論へ」 林紘一郎
- ・「韓国の若者によるテレビ番組映像ファイルのダウンロードおよび視聴行動とその動機—「利用と満足研究」の視点からテレビ機器を通じた映像視聴行動との比較」 竹村朋子
- ・「A Developmental Framework for ICT and Labour Productivity in Developing Countries: A Case Study of Thailand」 Chutipong KEESOOKPUN, Hitoshi MITOMO

掲載論説

- ・「国内酒造企業におけるソーシャルメディアのマーケティング活用」 針尾大嗣

情報通信学会誌第31巻第3号 通算第108号 (平成25年12月号)

特集 第30回国際コミュニケーション・フォーラム (前篇)

研究会報告 「情報知財研究会」

情報通信学会誌第31巻第4号 通算第109号 (平成26年3月号)

特集 第30回国際コミュニケーション・フォーラム (後編)

掲載論文

- ・「Facebook利用者の日米台比較—個人情報の開示とネットワークの同質性を中心に—」 石井健一

掲載論説

- ・「日本における「インターネット依存」調査のメタ分析」 小寺敦之

## 評議員会及び理事会の開催

### <評議員会>

#### 平成25年度定時（通算第10回）評議員会

日時：平成25年6月18日（火）10：00～10：50

場所：一般社団法人電波産業会 会議室1A

出席者：（評議員）遠藤薫、川崎賢一、佐藤靖夫、辻正次、富田英典、根本典夫、村瀬楨文（理事）  
福家秀紀、三友仁志（監事）新保史生、高橋守和

議案：

1. 平成24年度事業報告について
2. 平成24年度決算報告について
3. 理事の選任について
4. 追加の評議員の選任について
5. 評議員会が制定する諸規則の改正について

報告事項：

1. 事業執行状況報告
2. その他

#### 第11回評議員会（決議の省略の方法による）

日時：平成25年8月1日（木）

議案：

1. 定款の変更の案について
2. 追加の評議員の選任について
3. 寄付金等の取扱いに関する規則（寄付金取扱規則）改定の承認

### <理事会>

#### 第17回理事会

日時：平成25年5月31日（金）16：30～18：05

場所：一般社団法人電波産業会 会議室1A

出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆、山下東子、青木淳一、神野新、中西浩、（監事）高橋守和

議案：

1. 平成24年度事業報告について
2. 平成24年度決算報告について
3. 理事候補者の推薦について
4. 理事会が制定する諸規則の改正について
5. 評議員会が制定する諸規則の改正について
6. 理事会が制定する諸規則の廃止について

7. 評議員会招集について
8. 会員意見の募集について
9. 論文賞の選定について
10. 入会申込者の承認について

報告事項：

1. 寄付の受け入れ承認について
2. 第30回情報通信学会大会進捗状況と協賛について
3. 第30回国際コミュニケーション・フォーラムについて
4. 情報化委員会活動報告
5. 6月以降のスケジュールについて

\*本理事会は定款第30条の規定に定められる定足数を満たしておらず、決議を行うことができなかった。

### 第18回理事会（決議の省略の方法による）

日時：平成25年6月4日（火）

議案：

1. 平成24年度事業報告について
2. 平成24年度決算報告について
3. 理事候補者の推薦について
4. 理事会が制定する諸規則の改正について
5. 評議員会が制定する諸規則の改正について
6. 理事会が制定する諸規則の廃止について
7. 評議員会招集について
8. 会員意見の募集について
9. 論文賞の選定について
10. 入会申込者の承認について

### 第19回理事会

日時：平成25年6月22日（土）12:00～12:25

場所：東洋大学白山キャンパス5号館5304教室

出席者：（理事）三友仁志、内山隆、神野新、河又貴洋、木村幹夫、実積寿也、寺崎明、中西浩、中野幸紀、根本典夫、福富忠和、山田肇

議案：

1. 会長（代表理事）選定の件
2. 平成26年度第31回学会大会の開催校について

### 第20回理事会

日時：平成25年7月23日（火）16:00～17:40

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室 4

出席者：(理事) 三友仁志、浅井澄子、内山隆、梶浦敏範、神野新、木村幹夫、阪中信之、高崎晴夫、  
実積寿也 (スカイプ参加)、寺崎明、中西浩、中野幸紀 (スカイプ参加)、西岡洋子、根本典  
夫、山田肇、(監事) 高橋守和

議 案：

1. 副会長、常務理事の選定および委員会委員長の選任について
2. 資金運用執行責任者任命の承認について
3. 評議員会招集について
4. 第 30 回国際コミュニケーション・フォーラム実行委員会の設置について
5. 終身会員の承認について
6. 入会承認について

検討事項：

1. KATP主催のシンポジウムへの協力

報告事項：

1. 第 30 回学会大会開催報告
2. 平成 25 年度関西大会進捗状況
3. 第 30 回国際コミュニケーション・フォーラム進捗状況

## 第 2 1 回理事会

日 時：平成 25 年 9 月 30 日 (月) 18:00~19:16

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室 2

出席者：(理事) 三友仁志、内山隆、中野幸紀、根本典夫、浅井澄子、上原伸元 (スカイプ参加)、寺  
崎明、梶浦敏範、神野新、河又貴洋 (スカイプ参加)、木村幹夫、阪中信之、高崎晴夫、中  
西浩 (スカイプ参加)、西岡洋子、(監事) 高橋守和

議 案：

1. 職員就業規則等の改正について
2. 基本財産である満期有価証券の買い替えについて
3. 第 30 回国際コミュニケーション・フォーラムの実施について
4. 正会員表彰受賞者について
5. 来年度学会大会における個人研究発表申込み資格の変更について
6. 入会承認について

報告事項：

1. 第 30 回国際コミュニケーション・フォーラム
2. 平成 25 年度関西大会
3. 委員会報告
  - ①事業企画委員会
  - ②研究企画委員会
  - ③編集委員会
  - ④関西センター

## 第22回理事会（決議の省略の方法による）

日 時：平成25年11月7日（水）

議 案：

1. 入会申込承認について

## 第23回理事会

日 時：平成25年12月16日（月）18：00～19：30

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室4

出席者：（理事）三友仁志、中野幸紀、根本典夫、上原伸元（スカイプ参加）、寺崎明、梶浦敏範、神野新、河又貴洋（スカイプ参加）、阪中信之、高橋晴夫、西岡洋子、服部孝章、福富忠和、（監事）高橋守和

議 案：

1. 会員の入会承認に関する任務の常任理事会への委任について
2. 年度途中から入会する会員の年会費等に関する内規の承認について
3. 入会承認について
4. 事業企画委員の追加について

## 第24回理事会

日 時：平成26年3月20日（木）18：00～19：40

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室4

出席者：（理事）三友仁志、根本典夫、浅井澄子、上原伸元、実積寿也（スカイプ参加）、梶浦敏範、神野新、河又貴洋（スカイプ参加）、木村幹夫、阪中信之、西岡洋子、服部孝章、山田肇、（監事）新保史生

議 案：

1. 平成26年度事業計画について
2. 平成26年度収支予算について
3.
  - 3-1 基本財産の一部の基本財産からの除外について
  - 3-2 公益事業促進基金及び周年事業基金への繰り入れについて
  - 3-3 公益事業促進基金の取り崩しについて
4. 寄附の受入れ承認について
5. 編集委員会関連の規則等の制定について
6. 新規研究会の設置について
7. 事務局長の特別手当の支給について
8. 入会承認について
9. 終身会員の承認について

報告事項：

1. 常任理事会報告

2. 事業企画委員会報告
3. 研究企画委員会報告
4. 編集委員会報告

## <常任理事会>

### 第2回常任理事会

日 時：平成 25 年 4 月 30 日（火）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 第 30 回学会大会の協賛団体の協賛と協賛団体の参加費について

### 第3回常任理事会

日 時：平成 25 年 8 月 28 日（水）16：00～18：00

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室 1 B

出席者：三友仁志、内山隆、中野幸紀（スカイプによる参加）、根本典夫、浅井澄子、上原伸元、実積寿也（スカイプによる参加）、寺崎明

議 案：

1. 委員会委員の選任について
  - ①事業企画委員会
  - ②研究企画委員会
  - ③編集委員会
2. 総務プロジェクトチームの設置について

検討事項：

1. 今後の学会活動について
2. その他
  - ①公益法人協会普通会員参加について
  - ②モバイル学会のシンポジウム「モバイル'14」協賛について

### 第4回常任理事会

日 時：平成 26 年 1 月 23 日（木）18：00～19：30

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室 1 B

出席者：三友仁志、内山隆、中野幸紀（スカイプによる参加）、根本典夫、浅井澄子、上原伸元（スカイプによる参加）、実積寿也（スカイプによる参加）

議 案：

1. 各委員会の事業活性化計画
  - ①研究企画委員会
  - ②編集委員会
  - ③関西センター
  - ④事業企画委員会

## 第5回常任理事会

日 時：平成 26 年 2 月 26 日（水）18：00～19：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：三友仁志、内山隆、中野幸紀（スカイプによる参加）、根本典夫、浅井澄子、上原伸元（スカイプによる参加）、実積寿也（スカイプによる参加）

議 案：

1. 入会承認について

検討事項：

1. 平成 26 年度事業計画案及び予算案について
2. 基本財産の取崩し議案について
3. 情報工房との業務委託契約について
4. 各委員会検討事項
  - ①編集委員会
  - ②事業企画委員会
  - ③研究企画委員会
  - ④関西センター

## 委員会等の開催

### <事業企画委員会>

#### 第 1 回事業企画委員会

日 時：平成 25 年 9 月 5 日（木）16：30～18：15

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室 1A

出席者：上原伸元、高崎晴夫、浅利光昭、市川芳治、梶浦敏範、阪中信之、田村和人

議 案：

1. 委員の紹介
2. 事業企画委員会の仕事について
3. 学会活動の活性化
4. 第 30 回国際コミュニケーション・フォーラムについて

#### 第 2 回事業企画委員会

日 時：平成 25 年 12 月 12 日（木）17：45～19：15

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室 1A

出席者：上原伸元、高崎晴夫、浅岡隆裕、阿部圭介、市川芳治、梶浦敏範、田村和人

議 案：

1. 学会事業の見直し
  - ①既存事業の見直し
  - ②新規事業の是非について
2. 情報公開
3. その他

#### 情報化ワーキンググループ会合

日 時：平成 26 年 3 月 7 日（金）18：00～20：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：上原伸元、浅岡隆裕、浅利光昭、阿部圭介、市川芳治、田村和人

議 案：

1. 情報化 WG 構成員
2. 情報化委員会・情報化 WG の設置経緯について
3. 事業企画委員会と情報化 WG の関係性について
4. 情報化 WG の今後の作業体制について
5. これまでの実績と今後の課題
6. 2014 年度の学会及び事業企画委員会関連予定

#### 第 3 回事業企画委員会

日 時：平成 26 年 3 月 12 日（水）



場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 学会新ドメインについて
2. 情報通信ワークショップ（仮称）のテーマ案について
3. 情報通信ワークショップ（仮称）の第1回講演会について
4. 情報化ワーキンググループの設置
5. 会員表彰について

<研究企画委員会>

### 第1回研究企画委員会

日 時：平成25年4月5日（金）14：30～16：30

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室1B

出席者：内山隆、遠藤薫、神野新、田中絵麻、村瀬眞文

議 案：

1. 平成24年度研究会の活動状況の報告と平成25年度研究会の活動予定報告
2. 第30回学会大会個人研究発表タイムテーブル及び司会者、討論者の選定

### 第2回研究企画委員会

日 時：平成25年9月13日（金）16：00～18：05

場 所：明治大学 研究棟4階第5会議室

出席者：浅井澄子、木村幹夫、青木淳一、石井健一、中西浩、田中絵麻、内山隆

議 案：

1. 定例的業務
  - ①今年度の学会大会を振り返って
  - ②研究会活動の現状と改善点等の検討
2. 会長からの依頼検討事項
  - ①研究発表機会の拡充
  - ②研究発表時の討論者の拡充
  - ③若手研究者の動機づけ
  - ④学会発表と投稿との連動（編集委員会とも連携）
3. 次回研究企画委員会の予定

### 第3回研究企画委員会

日 時：平成26年3月10日（月）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 新規研究会の承認

<編集委員会>

## 第1回編集委員会

日 時：平成25年9月9日（月）13：00～14：30

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室4

出席者：実積寿也、春日教測、菊池尚人、高口鉄平、篠原聡兵衛、須貝フィリップ（スカイプ参加）、  
玉井克哉、西岡洋子、林秀弥、福田雅樹、福富忠和、宮崎久美子、山田肇

議 案：

1. 編集委員の紹介
2. 編集委員の仕事について
3. 今後の委員会の進め方
4. 投稿論文の査読の可否と担当編集委員、査読者の選定
5. 学会誌の担当
6. 検討事項
  - ①編集委員会関連規則の整備
  - ②学会誌の電子化
  - ③新たなジャンルの導入
  - ④英文資料の整備

## 第2回編集委員会

日 時：平成25年12月11日（水）

場 所：メーリングリストによる書面会議

報告事項：

1. 既投稿論文の処理状況について
2. 学会会長特命事項の対応状況について

議 案：

1. 新規投稿論文の担当委員割当案について

## 編集委員会関連規則の整備グループ会合

日 時：平成25年12月20日（金）13：00～14：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：福田雅樹、菊池尚人、玉井克哉、山田肇

議案：

1. 著作権ポリシーの明文化
2. 論文賞選考規定

## 第3回編集委員会

日 時：平成26年1月23日（木）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 新たな投稿ジャンルの設定について

## 2. 新たな投稿ジャンルの名称

### 第4回編集委員会

日 時：平成26年2月10日（月）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. J-STAGE を通じた公表タイミングについて
2. 論文の全文一般公開について
3. 学会誌の今後の形態について

### 第5回編集委員会

日 時：平成26年3月12日（水）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 論文賞規程の承認について
2. 論文賞受賞候補者選考手続きの承認について
3. 著作権規則の承認について

<関西センター委員会>

### 第1回関西センター委員会

日 時：平成25年6月7日（金）15：30～16：30

場 所：関西学院大学大阪梅田キャンパス 1001 教室

出席者：中野幸紀（ビデオ会議システム参加）、中西浩、辻正次、塚本勝俊、加藤聡、金谷学

議 案：

1. 平成25年度関西大会について
2. 研究会について

### 第2回関西センター委員会

日 時：平成25年6月27日（木）13：30～14：30

場 所：関西学院大学大阪梅田キャンパス 1001 教室

出席者：辻正次、中野幸紀、春日教則、岡田朋之、加藤聡、宿南達志郎、太田清喜

議 案：

1. 平成24年度関西大会について

### 第3回関西センター委員会

日 時：平成25年8月2日（金）15：00～16：00

場 所：関西学院大学大阪梅田キャンパス 1408 教室

出席者：中野幸紀、中西浩、春日教則、笠木繁樹、塚本勝俊、長谷川想

議 案：

1. 平成 25 年度関西大会について
2. 近畿総合通信局からの依頼について
3. 関西での論文発表の機会
4. 「勉強会」の開催について

#### 第 4 回関西センター委員会

日 時：平成 26 年 2 月 24 日（火）14：00～15：00

場 所：関西大学天六キャンパス

出席者：中野幸紀、中西浩、岡野直樹、小笠原盛浩、春日教測、塚本勝俊、長谷川想、加藤聡

議 案：

1. 平成 26 年度関西センター活動基本方針
2. 平成 26 年度第 31 回学会大会の開催について
3. 平成 26 年度関西大会の開催について
4. マルチメディア研究会及び情報文化研究会について

<総務プロジェクトチーム>

#### 第 1 回総務プロジェクトチーム会合

日 時：平成 25 年 9 月 9 日（月）15：00～17：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：根本典夫、寺崎明、青木淳一、福田雅樹、酒井由紀子、高橋守和

議 案：

1. 学会活動活性化推進計画（仮称）の策定
2. 活性化計画を支える特定資産の形成
3. 作業スケジュール

#### 第 2 回総務プロジェクトチーム会合

日 時：平成 25 年 12 月 6 日（月）15：30～16：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：根本典夫、寺崎明、青木淳一、福田雅樹、酒井由紀子

議 案：

1. 年度途中から入会する会員の年会費等に関する内規について

## 事業報告の付属明細書

### 1. 会員の増減

【平成25年度中の会員増減状況】

	正会員 (個人)	正会員(団体)		学生 会員	特別 会員	賛助会員		合計	
		団体数	口数			団体数	口数	個人	団体口数
平成25年4月1日 現在報告会員数	791	3	5	6	65	40	103	862	43 (108口)
年度内 増減	入会	52	0	0	5	5	7	57	5
	退会	△70	0	0	△3	2	3	△73	2
	変更	3	0	0	△3	0	—	0	—
	増減計	△15	0	0	△3	2	3	5	△16 3
平成26年3月31日 現在報告会員数	776	3	5	3	67	43	108	846	46 (113口)

### 2. 情報通信学会会員種別構成

会員種別	会員の性格	会費	特典等
正 会 員	個人 情報及びコミュニケーションに 関する研究調査に従事し、それ に関心を持つ 個人	入会金 不 要 年会費 10,000 円 (大学院生は 5,000 円)	学会誌送付 (各号 1 部) 投稿・個人研究発表 可 選挙権 (理事選挙) 及び 会員意見提出権 (パブリック・コメント) あり 大学院生を除き、被選挙権 (理事 選挙) あり
	正会員 (団体) に所属する研究者 (1 口につき 5 名以内。大学院生 は 1 人 0.5 名として計算)	入会金・年会費 不 要	
	団体 情報及びコミュニケーションに 関する研究調査に従事し、それ に関心を持つ 研究機関	入会金 不 要 年会費 1 口 10 万円	学会誌送付 (年会費 1 口につき各号 3 部以内 で希望する部数) 選挙権等 なし
学生会員	情報及びコミュニケーションに 関する研究調査に関心を持つ 学部学生	入会金 不 要 年会費 5,000 円	学会誌送付 (各号 1 部) 投稿・個人研究発表 可 選挙権等 なし
賛助会員	学会の目的に賛同する者	入会金 不 要 年会費 1 口 10 万円	学会誌送付 (年会費 1 口につき各号 3 部以内 で希望する部数) 選挙権等 なし
特別会員	賛助会員に所属する役職員(1 口 につき 5 名以内)	入会金・年会費 不 要	学会誌送付 (各号 1 部) 投稿・個人研究発表 可 選挙権等 なし

注：会員種別としては、この他に名誉会員がある（詳細は省略）。

### 3. 評議員名簿

公益財団法人情報通信学会

## 評 議 員

(任期：平成 23 年 4 月 1 日から平成 27 年定時評議員会の日まで)

評議員	非常勤	浅見 訓男	一般財団法人 マルチメディア振興センター 専務理事
同	非常勤	遠藤 薫	学習院大学 法学部 教授
同	非常勤	川崎 賢一	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	非常勤	佐藤 靖夫	日本電気株式会社 政策調査部 担当部長
同	非常勤	宿南 達志郎	立命館大学 映像学部 教授
同	非常勤	菅谷 実*	慶應義塾大学 メディア・コミュニケーション研究所 教授
同	非常勤	辻 正次	兵庫県立大学 大学院応用情報科学研究科 教授
同	非常勤	富田 英典	関西大学 社会学部 教授
同	非常勤	樋口 清秀	早稲田大学 国際教養学部 教授
同	非常勤	福家 秀紀*	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	非常勤	本多 周爾	武蔵野学院大学 大学院国際コミュニケーション研究科 教授
同	非常勤	松井 房樹**	一般社団法人電波産業会 専務理事
同	非常勤	村瀬 眞文	立教大学 社会学部メディア社会学科 講師
同	非常勤	山下 東子*	大東文化大学 経済学部 教授

(敬称略、五十音順)

\* 3名の任期は平成 25 年 6 月 18 日から平成 29 年定時評議員会の日まで

\*\* 1名の任期は平成 25 年 8 月 1 日から平成 29 年定時評議員会の日まで

#### 4. 理事・監事名簿

### 公益財団法人情報通信学会

## 理 事

(任期 平成 25 年 6 月 18 日から平成 27 年 6 月定時評議員会の日まで)

会 長	非常勤	三友 仁志	早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科教授
副 会 長	非常勤	内山 隆	青山学院大学 総合文化政策学部教授
同	非常勤	中野 幸紀	関西学院大学総合政策学部教授
同	非常勤	根本 典夫	一般財団法人電気通信端末機器審査協会専務理事
常務理事	非常勤	浅井 澄子	明治大学政治経済学部教授
同	非常勤	上原 伸元	東京国際大学国際関係学部准教授
同	非常勤	実積 寿也	九州大学大学院経済学研究院教授
同	非常勤	寺崎 明	東京工業大学大学院理工学研究科客員教授
理 事	非常勤	梶浦 敏範	株式会社日立製作所 情報・通信システム社スマート情報システム統括本部上席研究員
同	非常勤	神野 新	株式会社情報通信総合研究所主席研究員
同	非常勤	河又 貴洋	長崎県立大学シーボルト校国際情報学部准教授
同	非常勤	木村 幹夫	一般社団法人 日本民間放送連盟研究所主任研究員
同	非常勤	阪中 信之	NHK放送文化研究所所長
同	非常勤	高崎 晴夫	株式会社KDDI総研取締役主席研究員
同	非常勤	中西 浩	大阪大学 学際融合教育研究センター 特任教授
同	非常勤	中野 雅至	兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科教授
同	非常勤	西岡 洋子	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授
同	非常勤	服部 孝章	立教大学 社会学部メディア社会学科教授
同	非常勤	福富 忠和	専修大学ネットワーク情報学部教授
同	非常勤	山田 肇	東洋大学経済学部教授

(敬称略、五十音順)

## 監 事

(任期 平成 23 年 4 月 1 日から平成 27 年 6 月に開催される定時評議員会の日まで)

監 事	非常勤	新保 史生	慶應義塾大学 総合政策学部教授
同	非常勤	高橋 守和	株式会社NTTドコモ 執行役員法人事業部副事業部長

(敬称略、五十音順)